

第 56 回建築士会全国大会 しまね大会紹介

5) 島根のまちなみ 2) 鉱山遺構

島根県が鉱物の国だということはあまり知られていません。大森銀山に代表されるように、銀の産出量は世界一でしたが、銀山では金も採掘されています。銅はといえば島根県じゅうにかつての採掘場跡が残っています。津和野も銅で栄えました。採掘場自体は天領ですが、津和野も恩恵にあずかっています。



菅谷たたら 民俗文化財

津和野の銅山は笹ヶ谷銅山です。近くには晩越銅山もあります。銀山の近くにも大きな銅山がありました。松江の近くにもあります。そして出雲大社の北側に、鷲銅山が栄えていました。そ



今はもうなくなってしまった永代たたら

して和鉄です。日本には鉄の産地は他にも

ありますが、不純物が少なく、純度の高い鉄が精錬できるこの地では、かなり昔から和鉄が生産されてきました。鉄生産の元締めを鉄師と言



今も和鉄を作る日刀保たたら

操業中のたたら

い、職人の頭を村下(むらげ)と呼びます。鉄師の屋敷は今も各地に残っています。菊竹氏を島根に呼んだ元島根県知事の田部氏も鉄師の出です。映画「物の怪姫」に出てきたような製鉄の場は「たたら場」と呼ばれ、屋根のある作業場の中で、製鉄の度に炉が築きます。今残るたたらは一つしかありません。「菅谷たたら」です。



鷲銅山に今も眠る旅人宿と散髪屋

古い写真のたたら場は、今はもうありません。日刀保は今も年 1 回操業を続け、日本刀のための鉄を作っています。鉄骨造ですが登録文化財です。橋脚が残っているのは鱈淵鉱山遺構で銅や亜鉛、石灰を採掘していました。



鱈淵鉱山のトロッコ列車橋脚と格納庫